

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(県職員NPO研修、タウン誌・ケーブルテレビ等で紹介)
- ・太陽と緑の会からの助成
- ・ご協力者名簿／編集後記

### 「48年前の記憶」

杉浦 良

今は昔、京都市北区にある「白川学園」という障害を抱えた子供たちの入所施設でのことです。何もかも初めて知ることばかりの学生時代に、ひょんなことに関わることになった福祉施設は、明治42年、クリスチャンだった脇田良吉氏が全国で2番目に作りました。その当時は脇田悦三氏(2代目)が園長で、近藤孝一氏が副園長でした。学生ボランティアとして毎週夜1時間ほど歌や幻燈(スライドプロジェクター)やゲームなど、遊びを通じてハンディを抱えた子供たちと園内の集会場で関わるのが、活動の中心でした。

普通はそれ以上踏み込まないのですが、そこで働く職員にも興味を持つようになりました。夜間大学で哲学を専攻した方、高校卒業後しばらく経ってから大学で社会福祉を学んだ方、元英字新聞記者、大学院で哲学を専攻された方、全共闘の元学部長、高校卒業後牛乳配達を生業とされた方、軽音出身のジャズピアニストなど、普通では考えにくい経歴の持ち主に驚きました。そして当時の社会福祉法人施設は、安定して楽にお金を得ることとは程遠い職場環境でもありました。

「・・・子供の入所を白川で断られたら、京都では他に受け入れ先はない・・・」  
そんな話を耳にしました。

「・・・上は、大変な子供たちを引き受けて来るけど・・・少ない職員体制で・・・これ以上は・・・なかなか難しいというのが本音なんだけど・・・それでも・・・」

そんな声も聞こえてきます。

「・・・こんどの新人Eさんは手ごわい・・・言葉もないし多動だし・・・自傷行為も激しい・・・でも私が関わってみます・・・」と、名乗り出る職員の存在もありました。



県職員 NPO 研修

何のための障害者福祉か・・・なかなか受け入れ先が決まらないハンディを抱えた子供の受け入れを覚悟すること、職員待遇を少しでも良くしようと対外的に奔走すること、人員確保のためのアンテナを張り巡らせること、手間もかかり対応の大変な手ごわい子供たちに、何とかバランスを保たせるためのアプローチを模索すること、山積みの難問が渦巻きながらも、それでも職員と子供たちの日々日常がありました。個性的な職員はそれぞれ自分なりの立ち位置があるように見受けられました。この仕事をしなくても他でも食べていけるだろうと思われる方々が、敢えてこの仕事を選んでいるとする内なる意思なるものも感じられます。社会変革や社会正義などということより、高度成長に邁進しながら自分のために生きる事がトレンドになりつつある頃、待遇や労働条件や社会的評価などから距離を取る生き方もあることを、身近に感じた記憶があります。

時は流れ 2006 年 4 月に障害者自立支援法が、2013 年 4 月には前者の問題点を修正、対象を難病障害者にも広げた「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合支援法)が施行されました。当時はせいぜい社会科教員免許か社会福祉主事任用資格だったものが、社会福祉士や介護福祉士(1987 年制定 1989 年から)、精神保健福祉士(1999 年制定 2000 年から)など多様になりました。

48 年前、日本における障害者福祉状況は確かに厳しいものでした。1 部屋に二段ベッドが 5 つも 6 つもあり、沢山の子どもたちであふれていました。寄付で頂いた古着を子どもたち一人一人にサイズ合わせしてタンスに入れ、週に 2 回のお風呂は職員と子どもたちの格闘です。少ない予算で食事を充実させるために、直接農家から野菜を入手するなど苦勞も絶えません。早出、日勤、遅出、夜勤とスケジュールを組みながら、食事介助から服薬、後片付け、園外散歩や北山散策、日中行事、夜 8 時には寝かしつけ、深夜 0 時前には夜尿癖の子どもをトイレにエスコートします。朝は 6 時前から動き出す子どもたちでバタバタと一日がスタートです。三畳一間の男子職員寮と四畳半の女子職員寮。正門を出て市バスに乗り京都市内に向かうことが唯一の息抜きだったのかもしれませんが、「本当に大変だけど、そんな人達が支えていた」そんな感覚がいまだに蘇ります。

時は移り、福祉制度や資格も充実し、前述の様に 1 部屋に詰め込まれることもなく、管理栄養士の指導の下で食事も充実し、頂いた古着のサイズを合わせることもありません。それにもかかわらず、2016 年 7 月 26 日早朝、神奈川県相模原市の県立障害者施設で元職員によって 45 人が殺傷されました。

待遇や処遇、職員の専門性などは、どうも問題の本質には届かないのでしょうか。問題の本質に少しでも近づけるよう、メンバーとの日々日常の関係の質にこだわっていければと、思っています。

# お知らせ

## 県職員研修

今年で11回目となる徳島県職員研修。「NPO体験研修」から「地域交流体験研修」に衣替えした今回の研修は、当初5名の皆さんの参加が予定されていましたが、医療関係者3名の参加が見合わせとなり、2名での実施となりました。

男女2名の若手職員さんに、パワーポイントを使ったプレゼンから始まり、こちらの活動をメンバー達と一緒に体験して頂き、最後に質疑応答で締めくくるという2日間の研修ですが、今までとは違い、回収作業から荷下ろし、分別、鉄屑・雑古紙の積み込み、値札つけ、リユース品の展示入替など、一連の活動を経験して頂きました。中身の濃い研修で、思ったより大変だったのではと思います。

## 雑誌「FRaU」で紹介

雑誌「FRaU」最新号でSDGs-TRIP(サステナビリティを学び、体感できる国内外の旅)の特集第一弾として徳島を取り上げています。

本誌にて、太陽と緑の会を時々利用されているお客様が太陽と緑の会のことを紹介して下さいました。

徳島県は海山川に恵まれ、関西からサーフィンや釣りの愛好家の皆様も足繁く通って来られたりしているのですが、観光という面では四国四県の中でも一番地味な印象です。

「徳島ってどこ?」と言われ(特に東日本や九州にお住まいの方からよく言われます…)、福島県と間違えられることもよくあります。

本誌をきっかけに、徳島のことを知って下さる方が少しでも増えたら嬉しいです。

## ケーブルテレビで紹介

10月22日、ケーブルテレビとくしまの情報番組「ステップ」で太陽と緑の会のリユースの取り組みが紹介されました。10月4日、ディレクターの中内さんとカメラマンのお二人が取材に来られ、ヒアリング、インタビュー、撮影と、合わせて5時間くらいおられました。

放映内容は動画サイトのユーチューブでも公開されています。

## 地元タウン誌で紹介

素顔のとくしま、紡ぐ物語「めぐる、」(あわわ発行)2021年11-12月号に、太陽と緑の会の活動が紹介されました。担当の中尾さんが丸一日、月の宮作業所で自転車のリユース作業取材してくれました。今回の「めぐる、」のテーマは「直して使う」。前号は「すする幸せ」をテーマに、麺類を扱ったおしゃれなもの。「おしゃれ」とは程遠い月の宮作業所での日常を、上手くまとめてくれました。

メンバーKさんは10月19日に書店で買って皆に披露。嬉しくて仕方ありません。中尾さん有難うございました。

## 鹿肉頂きました

いつも太陽と緑の会でボランティアをして下さっている上勝町のAさんから鹿肉を頂きました。初めて罾で捕らえた鹿を専門の方をお願いして解体して頂いたとか。徳島市内にある月の宮作業所の近辺でも、10年以上前から、シカやイノシシが出没しており、路上で見かけることもあります。

頂いた鹿肉はメンバーのAさんがハサミで切り、Bさんが玉ねぎなどの野菜を涙を流して切り、Cさんが炒めてカレーを作りました。

## お米お届けしました

「古米の玄米ですが持ち込んでも大丈夫ですか？」

そんな有難い言葉から集まった玄米120キロを精米し、9月27日NPO法人クレエールが行っている子ども食堂にお届けしました。

「新型コロナ禍での貧困家庭支援としては、お米が一番喜ばれます。1人3合のお米を袋に詰めて配送支援もしています。」

原田理事長さんからそう聞きました。配送支援は食料を配るだけでなく、お母さんや子供たちとの会話の必要性を言われていました。やはり人間力が試されるのでしょうか。

子供支援事業としてお風呂や子供学習室や食堂など、新規事業展開のための工事をされていました。10月中頃には完成予定とのこと、地道な活動に幸あることを願います。

格差が拡がり自助が優先される日本においては、生まれ落ちた家庭の状況で、アンフェアなスタートラインが引かれます。子供は家庭を選べません。それは「障碍」と同じでしょう。

そして両方の困難さを抱えたときの、さらに厳しい現実も随分見させて頂きました。絶望的にもなりますが、それでもせつせと生きている姿に少しの光明があります。

## 冬期休業のお知らせ

12月29日(水)～1月6日(木)

※12月27日(月)、28日(火)は通常通り活動致します。

※新年は1月7日(金)から活動を始めます。

## 定休日の変更

- ①毎週水曜日
- ②第2第4火曜日とその前日の月曜日

11月より定休日を変更しました。

祝日は通常通り活動することに致しました。ぜひご利用下さい(上記及び長期休暇に該当する場合はお休みします)。

コロナ禍が始まって以来、感染拡大防止のために定休日を少し多めに設定していましたが、それもコロナ禍以前の水準に戻していきます。

コロナ禍の状況に鑑みて自粛していた「感謝セール」につきましても、多くの皆様からリクエストを頂いており、県内の状況を見ながら再開を検討して行きたいと思えます。(具体的な日程が決まりましたら、ホームページ、facebookでお知らせ致します)

もちろん、第6波の可能性も想定される中で、店内の定期的な換気(当会の建物は天井が高く窓が多いので十分な換気が可能です)など、感染予防対策は怠りなく行っていく所存です。

太陽と緑の会ホームページ

<http://www.t-midori.org/>

太陽と緑の会 facebook

<https://www.facebook.com/taiyoumidori/>



ホームページ



facebook

# 太陽と緑の会からの助成 (第53回 第54回)

第53回太陽と緑の会福祉事業団からの助成  
徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金  
(古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、  
廃食油1キロに対して20円) 令和元年度前  
期分(令和元年度後期配分)10万3900円が  
当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給され  
ました。これを各分野で非営利活動に取り  
組んでおられる以下の団体の皆様に配分さ  
せて頂くことに致しました。(敬称略)

## ①障害者福祉活動への助成

共同連(差別とたたかう共同体全国連合)  
(社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど)  
2万5000円

## ②社会福祉活動への助成

徳島市社会福祉協議会 5000円  
徳島のいのちの希望(社会福祉法人徳島県自殺  
予防協会)(電話による相談活動) 5000円  
大阪釜ヶ崎喜望の家(野宿を余儀なくされ  
た高齢日雇労働者の支援活動) 6494円

## ③国際協力活動への助成

公益社団法人セカンドハンド(チャリティー  
ショップの運営を通じたカンボジアの教育支  
援・医療支援活動) 1万2000円  
モヨチルドレンセンターを支える会(ケニア  
におけるストリート・チルドレンの支援活動) 3万円  
ペシャワール会(アフガニスタン等での医  
療事業、水源確保事業、農業計画) 1万円

## ⑤その他の活動への助成

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社  
会的基盤の強化を図る活動) 1万円  
支援金振込手数料 406円

第54回太陽と緑の会福祉事業団からの助成  
徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金  
(古紙、鉄屑、空き缶1キロに対し3円、  
廃食油1キロに対して20円) 令和元年度後  
期分(令和2年度前期配分)9万7000円が当  
会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されま  
した。これを各分野で非営利活動に取り組  
んでおられる以下の団体の皆様に配分させ  
て頂くことに致しました。(敬称略)

## ②社会福祉活動への助成

大阪釜ヶ崎出会いの家(野宿を余儀なくさ  
れた高齢日雇労働者の支援活動) 5000円

## ③国際協力活動への助成

(公財)徳島県国際交流協会 1万円  
モヨチルドレンセンターを支える会(ケニ  
アにおけるストリート・チルドレンの支援活動)  
3万4374円  
烏雲先生をたたえる市民の会(日中友好  
交流に向けた活動) 3000円

## ④環境保全活動への助成

NPO法人 新町川を守る会(川を守り、  
水を活かしたまちづくり) 3000円×2回  
NPO法人 新町川を守る会(花ロード  
プロジェクト) 3000円

## ⑤その他の活動への助成

「フードバンク・子ども食堂育成支援基  
金」(ハートフルゆめ基金とくしま)  
(社会的支援を必要とする人たちに対して、品  
質に問題が無いにも関わらず廃棄されている  
食品を譲り受け、無料でお届けする事業を行  
い、地域で支え合う社会の実現をめざす活動)  
3万円

## ⑥災害支援

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)  
(東日本大震災により被災された宮城県沿  
岸部の在宅重度難病者支援活動に対して)  
5000円  
支援金振込手数料 626円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平  
成5年度よりスタートしました。各分野  
で非営利活動に取り組んでおられる個  
人・団体の皆様を対象に年2回、27年間  
で累計1579万2076円の助成を行ってき  
ました。

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2021年9月1日～2021年10月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

生田、米田、米田、米田

## 品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○榎本、宮本、大林、福井、松田、鈴木、向井、尾崎、石田、吉田、大上川、富士、吉岡、中村、小田、平岡、辻岡、徳永、フジタ、内藤、弘瀬、森、田丸、岡島、岡本、藤井、蔭山、森本、矢川、小林、早淵、松井、山下、近藤、佐賀、津村、板東、佐藤、原、フクイ、寺岡、阿部、福良、山本、横山、片山、大井、東口、牧野、大西、前田、岡田、花井、土岐、金本、米田、杉本、鈴江、元木、水落タン、大西、島谷、藤本、川上、日下、湯浅、吉野、森本、多田、岸本、谷添、山本、今津、松下、小畠、後藤田、原、澤崎、吉岡、田村、ミヤザキ、島本、横井、松本、多田、上家、大久保、河野、野澤、田丸、眞木、小山、山田、成田、犬伏、中矢、秋山、広田、鈴江、伊藤、阿部、青木、柿本、大久保、廣田、小池、岡部、杉本、福井、宮崎、中山、藤原、植木、川島、和田、佐藤、岩崎、富岡、幸崎、松浦、山口、田中、喜多、佐々木、戸田、新居、荒木、中川、宮脇、和田、眞木、小田、板東、高橋、木藤、平野、早淵、本田、イマエダ、尾崎、西川、小西、東條、佐野、梶村、秋山、小川、前田、樋口、上田、河村、富士、萩原、尾畑、平石、美谷、谷口、こどもの発達研究室きりん、加藤、吉野、山橋、松本、元木、松永、荒木、小西、鈴木、祖父江、上久保、阿部、川人、西岡、谷本、富士、坂井、西野、上家、片山、田村、鈴江、内藤、新居、トカワ、林、勝間、藤崎、美間、武田、浦川、柳生、矢田、大和、山本、和泉、上田、川島、堀川、松永、黒田電気商会、佐野、楠本、濱田、藤崎、谷田、黒田、森口、榎原、カトウ、安原、折田、東條、高田、増原、高木、中原、寺岡、中野、森本、一宮、仲村、藤本、小倉、河原、斎田、(株)アクティブ、加本、荒木、大峯、本田、柳澤、竹中、大西、矢部、西條、武市、元木、笹賀、藤崎、遠山、岡、岸、松田、四方、島村、川野、井上、木下、國見、藤川、榎山、トダ、葵、助岡、中谷、向井、田中、長浜、板東、谷川、松島、大松、野澤、森岡、若林、竹内、藤岡、西岡、富峯、辺見、佐野、井高、櫻本、津田、牧本、公益社団法人 徳島県環境技術センター、山岡、岡本、山川、藤本、いわさき、小林、元木、小倉、藤野、大和、前田、久米川、河崎、鈴木、梶村、宮脇、小野木、近藤、新田、日下、井坂、林、小野原、小坂、藤井、シラキ、立石、松本、徳原、増田、富山、キム○板野町○西野、梶原、中村、日野、松田、高橋○藍住町○西岡、十川、入山、近藤、川口、山本、長野、瀬尾、加納、久次米、浅川、中野、犬伏、横田、福永、井上、新開、濱、山本、佐竹、竹村、下岡、伊藤、井上○石井町○西川、藤井、平尾、高岡、松浦、石本、林、富樫、藤沢、白木、河野、岡田、森野、早藤、本庄、中村、山本、赤澤、大橋、桑原、田村、赤澤○小松島市○藤野、岩本、山本、梅岡、河原、飛田、郡、藍谷、谷本、樽岡、藪内、杉本、相原、泰地、杉野、徳政○阿波市○マサキ、石田、植木、カサイ、藤岡、福田、田中、宮下○北島町○森、島口、山下、秋野、田端、原田○阿南市○藤坂、上原、井原、石川、久保、株木、佐野○鳴門市○後藤、篠原、正木、三井、矢野、大石、高田、高橋、小田、山本、吉成、川井、浅野、東條、玉田、益田、鈴江、梅本○吉野川市○麻植、石田、田村、米澤、松川、島田、小原、原口、三木田、阿部、西條、原田○神山町○香川、河野、上田○上板町○鈴田、笠井、吉田、北村、三木、カジハラ、飯田○松茂町○朝井、宮崎○美馬市○高木、加藤○佐那河内村○藤田○東みよし町○リ・デル・クリス○勝浦町○長岡○福岡県○永峰○愛媛県○浜田○埼玉県○亀倉、本田○東京都○小林、蒲田○香川県○吉村○愛知県○松浦

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○山田、豊田、出口、中川、水田、大木、池村、大北、石山、野口、吉川、中西、佐野、岡久、橋本、金子、森、米澤、五反地、川野、河野、板東、植田、幸田、高橋、カワゾエ、吉見、井口、原、笠井、西岡、上路、近藤、米田、小渡、木村、福田、宇治、久米、広瀬、デグチ、鎌田、鈴江、石川、藤田、三木、三宅、原淵、坂東、田村、清水、前川、クレール、堀、長田、宮越、沢田、林、長野、喜多、円藤、塩津、コハマ、斎藤、吉岡、徳田、岡本、織田、松本、福永、横山、ここの、荒井、佐川、糸林、竹口、島田、桑原、オオグシ、日浦、泰地、川原、笹原、上村、坂本、

平野、細國、三好、木下、川崎、川原、岡久、平尾、武知、市川、岡山、手水、佐野、豊栄建設、宇治製菓、木村、長尾、多田、柿本、松野、米田、村上、森川、杉本、服部、神田、杉原、勝浦、福長、宮本、岸、かわすみ、川内、中島、岡本、真鍋、かつの、土肥、林、八木、呉羽、坪内、生田、片山、上田、新見、坂野、原田、結城、渡部、長野、片岡、杉本、吉村、山本、明石、伊丹、ナーシングホーム伊月、サイカ、後藤、出口、宮越、清水、河原、榊トリート、藤原、生田、濱口、多田、川内、川原、坂本、花岡、川野、大櫛齒科、福田、鎌田、いうち、喜多、久米川齒科、田中、中井、武市、内田、中安、藪田○鳴門市○米田、石川、株田、上井、大和、前田、西條、久龍、岩永、岩田、長野○小松島市○大室、鎌田、阪本、長尾、木下齒科、谷口、富永○上板町○川田、別所○板野町○松村○松茂町○箱井、上西○石井町○海原、広沢、大久保、田村、山崎、若代、三木、桑原○藍住町○藤井、佐川、黒川、杉田、阿部、志尾○吉野川市○藤井、工藤、安芸○北島町○宮本、宮崎、職人の店北島店、島口

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

また、お野菜、果物、食材、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



「フードロスをなくすために、まだ食べられる不要な食材を集めてきました！」

竹條さんが、浄土真宗のお寺（尊光寺等）の皆さんからの食料品・調味料など、いつも持ち込みをして下さっています。妹さんの分まで弁当を買って帰るメンバーのEさんにと炊き込みご飯の差し入れや、手作りのおはぎ、お饅頭やお菓子まで頂きました。みんなにおすそ分けするだけでなく、1人暮らしをしているメンバー達には食料品等を渡したりしています。ありがとうございます。



いつも当会にお買い物に来て下さるTさんからおいしいおみかんを頂き、朝ミーティングや昼食の時に皆に配りました。また別のお客様からは、太刀魚を頂き、メンバーのKさんが捌き、煮つけにして皆で頂きました。有難うございました。

## 編集後記～生きていく力

「昨日ワクチン打ちました」

知的ハンディを持つメンバーのAさん。障がい者手帳、予診票、接種券の3点セットを持参して、近所にあるかかりつけ医まで自転車で乗って一人で出向き、接種を申し込んで翌日に1回目の接種ができたとのことでした。

両親が他界された後も、施設や病院に入ることなく、弟さんと妹さんと3人で生活を営み、夕方5時過ぎに作業所での作業を終えると、スーパーで自分と妹さんの分の弁当を買って帰るのが日課となっているAさん。

弟さんから「(ハンディがある)おまえに(そんな難しいことが一人で)できるんか」と心配されながらも、何とか自力でできたことで、ホッとした様子でした。

ワクチンについては保護者かソーシャルワーカーの方が、申し込みから接種場所への送迎までやるケースも多いでしょう。その方が早いし間違いもなく確実です。

そこをあえて、時間がかかっても、回りくどいようでも、自分にできることは自分でやる、という経験を積み重ねていくことが自信になり、その人の生きていく力になっていくのかもしれませんが。

## NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

「月曜日はMonday、火曜日はTuesday、よう知っとるだろう？」

大きな声でアピールしていた、知的ハンディを持つメンバーBさんのことをふと思い出しました。毎日欠かさずニュース番組を見て、そこで耳にした言葉を一生懸命披露することで、自分を保とうと必死にもがいていた姿が思い出されます。

「こんなことも知らんのか」

「やっぱりアホやなあ」

そう言われて悔しい思いをしてきた経験がそうさせたのでしょうか。

メンバーのCさんは東京の山手線の駅の名前を全部言えます。初めて聞いた人は「すごいね」「よく知っているね」と驚きます。相手が驚くと、Cさんもどことなくうれしそうな顔をします。

知識を競うクイズ番組で、日常生活で使うことがないような難しい漢字を知っていることを称賛したり、逆に小学校低学年で学ぶ漢字の読み書きができないことを笑いのネタにするような光景を目にすることがありますが、根っこの部分で重なるものを感じます。(文責・小山)

## 発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員1万円(総会議決権)

準会員1,000円(機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会